

地獄への挑戦 (1949)

I SHOT JESSE JAMES

メディア 映画
ジャンル 西部劇
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 81分
初公開日 1951/
公開情報 欧米映画

【解説】

弱小独立プロで、僅か10万ドルの予算、10日の撮影日数で作られ、早撮りフラーの伝説を残した、彼の記念すべきデビュー作。有名な西部の無法者ジェシー・ジェームズに最も信頼されながら、裏切って彼を殺したボブ（ロバート）・フォードの陰惨極まりないその後の人生を、ロングショットとクローズアップの組み合わせのみで見せる（だから10日で撮りが可能だった！）、荒々しくも魅力的な映画だ。1882年、ミズーリの隠れ家で傾いた額を直す瞬間を背中から撃たれたジェシー。卑怯な手段で彼を殺めて、その首に懸かった賞金を手にしようとした（が、それは支払われずじまい）ボブは、批判的な世評に耐えきれず次第に荒んだ生活を送るようになり、やがては、トランプ賭博で負けた代償に、舞台上でかつての事件の再現ショーをするまでに落ちぶれる……。良心の呵責に苦しむボブはJ・アイアランド。が、彼は結局、自分自身を演じることなど出来ず、酒場に直行。そこで彼をさげすむ歌を唄う歌手をつかまえて、本人だと名乗って、続きを唄わせる場面がいい。また、ジェシーへのボブへのアンビバレンツな感情は、たぶんにホモ・セクシャル的なものではなかったのかという解釈が、全編（特にそのラストに）サブリミナルに滑り込ませてある。ともかくフラーの畳みかけるその演出はB級映画の真髓を味わせてくれるだろう。

【クレジット】

監督	サミュエル・フラー	Samuel Fuller	
製作	カール・K・ヒットルマン	Carl K. Hittleman	
製作総指揮	ロバート・L・リップパート	Robert L. Lippert	
原作	ホーマー・クロイ	Homer Croy	
原案	サミュエル・フラー	Samuel Fuller	
脚本	サミュエル・フラー	Samuel Fuller	
撮影	アーネスト・ミラー	Ernest Miller	
出演	ジョン・アイアランド	John Ireland	ボブ・フォード
	プレストン・フォスター	Preston Foster	ジョン・ケリー
	バーバラ・ブリトン	Barbara Britton	シンシー・ウォーターズ
	リード・ハドレー	Reed Hadley	ジェシー・ジェームズ
	トム・タイラー	Tom Tyler	フランク・ジェームズ
	J・エドワード・ブロムバーグ	J. Edward Bromberg	ハリー・ケイン
	ヴィクター・キリアン	Victor Kilian	ソーピー
	トミー・ヌーナン	Tommy Noonan	チャールズ・フォード